

ひとり親に対する支援

物価高騰の影響を受けている子育て世帯支援について、宮城県では、低所得のひとり親世帯に対する物価高騰対策を行う市町村へ、9,600万円が措置され、一家庭あたり1万円ずつ、8,700人分が計上されているが、その内容および果における予算の組み立てについて聞き、県では仙台市の当該人口も含めて予算組みをしているが、仙台市を除くとして聞いてみました。

本来であれば、仙台市の人口も助成し、県の予算組みであれば、本市も県から予算が来るべきと質し、仙台市から宮城県に対して、仙台市のひとり親に対しても予算措置を行うよう要求していくと答えました。

インフルエンザ感染者増加に対して

宮城県全体でインフルエンザ感染者は警報レベルを超え、11月としては過去最多となった。医療体制が逼迫したとの報道もあったが、状況を聞き11月22日土曜日から24日月曜日の3連休に、こども急病診療所に加え、急患センターや北部急病診療所にも非常に多くの患者が来所し、体制の強化を図ったが、大変混雑が生じた。市内のインフルエンザの患者数は、その後減少に転じており、ピーク時に比べると少なくなっているが、依然、警戒が必要な状況と認識していると答えました。

初期救急医療体制について

初期救急医療体制は、市民の命と健康を守る最前線である。第3回定例会で医療事務や薬剤師などのスタッフの増員や待ち人数表示、呼び出しシステムの導入などについて当局から示されたが、年

未始に間に合うのか、また想定される効果について聞き、医療事務等の人員体制の強化については一定の増員が図られ、見込みであり、また、待合室の混雑緩和を図る待ち人数表示・呼び出しシステムや、受付事務の効率化のためのマイナ保険証カードリーダーの増設、会計事務効率化のための自動精算機の導入などについても、年末年始までに整備でき、見込みであり、昨年度に比べ、円滑な対応が可能になるものと考えている。

休日当番医の確保として、12月の市政だよりなどで休日当番医が広報されたが、年末年始の想定される状況を聞き、仙台市医師会や関係の医会とも協議を重ね、患者の分散化を図るため、内科および小児科の休日当番医を拡充するとともに、仙台オーブン病院に初期救急患者に対応する臨時外来を設けることとした。内科の休日当番医と仙台オーブン病院臨時外来の医師については公募を行い、小児科の休日当番医の拡充については、仙台市小児科医会の協力により確保した。各医療機関との連携の下、対応していきたいとの答弁でした。

栄養

食事の改善

食事は活きの源です。バランスのとれた食事を食卓に盛りつけよう。また、お口の健康（口内ケア）にも気を配りましょう。

フレイル予防

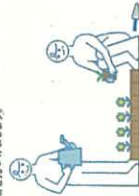
身体活動

ウォーキング・ストレッチなど身体活動は筋肉の衰えだけでなく健康や心の影響もあります。より多く身体を動かしましょう。



社会参加

趣味・ボランティア・教員など趣味やボランティアなどを行うことはフレイル予防に有効です。自分にとっての楽しみを見つけましょう。



あったかトーク

2026年 第55号 新春号

ひぐちのりこ 市議会ニュースレター



立憲民主党仙台市 幹事長

- 健康福祉常任委員会委員
- 防災・危機管理・環境特別委員会委員
- 仙台市国民健康増進推進協議会委員

31件の議案審査
第4回定例会

2025年第4回定例会市議会は12月2日開会、17日閉会の日程で開かれ、議員等の給与改定のための条例改正、物価高騰対策のための補正予算など計31件の議案審査を行いました。

一般会計補正予算案は総額207億2,100万円となりました。ふるさと納税寄附額が4億5,600万円増加したことをうけて、半額ずつ返礼品等の事務処理費と財政調整基金への積み立てなどが提案されました。

また介護、訓練等給付金、地域・生活支援や障害者相談支援事業費、利用が増加した産後ケア事業、小児慢性特定疾病医療費の利用量総額への対応、生活保護扶助費受給者の増加への対応、光のペーシェントの開催エリア拡大など、計95億8,400万円が計上されました。

物価高騰対策の
大型補正予算

国の補正予算に盛り込まれた重点支援地方交付金を活用し、物価高対策に111億3,700万円が計上されました。上下水道基本料金の全世帯に対する減免や宮城県の「みやぎポイント」を活用した「1飯給」せんだい生活応援ポイント」発行事業費（一人3,000円分×50万人、マイナンバーカード活用）住民税非課税世帯に1万円の商品券（ギフトカード）支給、子育て世帯応援手当（児童手当1人2万円）支給が盛り込まれました。その他食料費の高騰に対応した福祉施設等への助成、中小企業向け支援パッケージ、農水産業支援、観光プロモーション事業費の追加、公共交通（バス・タクシー）運行継続支援、ツキノワグマ被害防止対策パッケージなどが盛り込まれました。

市職員・特別職の
給与等改定

条例改正案では、人事委員会勧告に伴う市職員の給与改定（平均3.04%、一時金0.05月、地域手当6~8%）、教職員の調整額の引き上げ（2026年から毎年1%ずつ引き上げ、31年に10%とする）、市長・特別職の給与等の改定、市職員の交通費・宿泊費を定額から実費支給に見直すなどが上程されました。

また、共同住宅における荷さばき、車いすのための駐車場設置義務台数の変更に関するもの、林野火災に関する注意報の新設、簡易サウナ設備の構造管理基準の新設などの、火災予防条例に関する条例などが提案されました。

工事請負契約に関する件では、八木山動物公園総合獣舎新築工事、資材および労働単価高騰による市役所本庁舎整備事業、青葉区役所大規模改修工事の増額が計上されました。指定管理者の指定に関しては、市民会館、シルバーセンター、4老人

伊達政宗像が
騎馬像ライトアップ

である紫色にライトアップされ、また、全国500以上の施設でもライトアップが行われており、市の男女共同参画担当と観光セクションの連携で実現しました。



市役所本庁舎工事

TEL 022-398-8171

FAX 022-398-8172

nohiguchi@kaigamori.com

〒980-0011

仙台市青葉区上杉3丁目 9-31

プリマウェーラ社5101

お問合せは
こちら

くわしくは公式HPへ



